

奈良県立大和広陵高等学校 中期計画

対象期間		令和4年4月～令和7年3月
本校の使命(スクールミッション)		スローガン <スポーツ(部活動)をとおしての人づくり> ・教育活動をとおして進路実現、自己実現を果たす ・体育活動、スポーツ活動をとおして健やかな身体、健全な精神を育てる ・地域での活動や社会参加活動をとおして、地域と融合し地域の活性化に寄与する
教育方針 (スクールポリシー)	入学者の受入に関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます ・学業をはじめ、学校生活に前向きに努力できる生徒 ・何事においても、仲間と協調して取り組める生徒 ・中学において学級活動、生徒会活動、部活動等に積極的に参加し、高校入学後も継続して活動する意思をもっている生徒 ・体育活動、スポーツ活動に興味、関心のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と、変化する社会に積極的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います ・生徒が主体的に学び、確かな基礎学力を培う授業の実践 ・キャリア形成において、生涯を見通したコミュニケーション力、表現力、問題解決力の育成を目指した教育活動の実践 ・地域での活動や社会参加活動をとおして他者尊重の姿勢を育み、自己肯定感・有用感の醸成を図る教育活動の実践 ・将来、地域や社会に貢献できる人物の育成をめざし、スポーツ・文化的活動をとおして探求的な活動や地域への支援・交流活動を行う
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、以下の資質・能力を身に付けた生徒に卒業を認定します。 ・キャリア形成にめざした学習をとおして、自ら考え、学ぶ力と探究する心 ・心身を鍛え、進路を拓く確かな学力を身に付け、将来地域に貢献していく志 ・スポーツ、文化的活動をとおして培った高い人間力

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和6年度末目標値等
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	・体力の向上と運動習慣の定着	・生徒アンケートにおいて、スポーツテスト、日々の体育授業のトレーニングをとおして、前年に比べ体力の向上がみられた、80%以上
	・部活動の活性化	・新入生、部活動加入率90%以上 ・部活動集会の実施、運動部月に1回・文化部学期に1回、合同で学期に1回の開催 ・地域の小・中学校の部活動やスポーツ団体等との交流
	・基本的な生活習慣の確立	・欠席、遅刻、早退数の前年度比10%減少 ・生徒アンケートにおいて、適切な言葉遣いで、あいさつ・敬語の使用、85%以上 ・清掃活動の充実、運動部と文化部・各委員会等が定期的に合同清掃を実施
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ・観点別評価の充実	・生徒アンケートにおいて、授業に意欲的に取り組んだ85%以上 ・生徒アンケートにおいて、学習の成果がわかりやすく評価され、学習を進めるために役立っている、85%以上
	・魅力と活力のある学校づくり	・野外活動、水上、スキー(3級検定合格10%以上)等のスポーツ実習の充実、生徒アンケートにおいて、満足度80%以上 ・体育大会、球技大会等行事の充実、生徒アンケートにおいて、満足度80%以上
	・オンライン教育の推進	・ICTを活用した指導の充実、教員アンケートにおいて、授業でのデバイス使用80%以上 ・教員の情報研修を年間2回以上実施し、指導力の向上を図る
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	・キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実	・キャリアパスポートをとおして、目的意識を明確にし、自己実現に向かう姿勢を育てる(4月実施の進路希望調査における「未定」回答者の50%減)
	・インターンシップの推進	・職業意識を高め、参加生徒を現状比200%に増大させる ・一般企業、役所、スポーツ施設等との連携
	・地元企業との連携の推進	・進路説明会への参加企業の増加 ・安定した求人数の維持、現状100%を確保し求人内容等中身の厳選 ・1年フィールドワークでの地元企業とのコラボ企画をめざす
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	・学校運営協議会による活動基盤の構築	・学校運営協議会の委員が主導して、年間2回以上を開催し、地域との連携を推進する
	・フィールドワーク活動の充実	・奈良TIMEの充実に向け事前、事後指導を行い、地域理解に繋げる。生徒アンケートにおいて、目標達成、満足度80%以上
	・社会教育の推進	・広陵、河合、三宅各町との連携の強化(コロナ禍で中止となった事業の再開) ・地域とのイベント、施設・企業との連携事業を立ち上げる
5. 地域で個性が輝く仕組みをつくる	・人権教育の推進	・人権意識の向上と人間関係づくりの充実 ・生徒アンケートにおいて、人権HR活動を中心とした校内活動や地域協働活動をとおして、人権意識が向上したと回答80%以上
	・いじめ防止方針に基づく取組の推進	・いじめ防止基本方針の点検・見直しと、いじめアンケートの年間2回以上の実施 ・人権HR活動を中心とした豊かな情操の育成
	・特別支援教育の推進	・カウンセリング、特別支援(通級)指導におけるスクリーニング会議の実施 ・ストレスチェックアンケートを年2回実施 ・カウンセリングだよりの発行、生徒対象年間10回、保護者対象年間1回

